
涼宮ハルヒの憂鬱 ~ よろずやSOS団 ~

YUKA ~ 夢幻 ~

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

涼宮ハルヒの憂鬱〜よろずやSOS団〜

【Nコード】

N7667I

【作者名】

YUKA〜夢幻〜

【あらすじ】

ある2人のハチャメチャ学園Storyがはじまるよ!!

入学式4

国木田「初日からやっちゃったね」

銀時「そうだな、まさか高校に来てまでゴリラと顔をあわせちゃうとはな」

国木田「いや、そうじゃないから。確かに似てるけど別人だからね、あれ」

銀時「だよなあ、世界に3人は同じ顔がいるっつーから少なくとももう1人はいるよなあ」

国木田「だから違っつて…あまり変な行動ばかりしていると目をつけられるよ?」

銀時「までよ…逆に考えるとゴリラは後1人しかいないってことに」

国木田「もういいって!いつまでゴリラ引きずってんの!??」

国木田「いや〜それにしても、あの涼宮って女の子もなかなかだね」

銀時「お?なんだ国木田、女みてえな顔していつちようまえに色気づいたか?」

国木田「違うから。なんだか銀さんに似てるなあって」

銀時「俺が?あいつに?馬鹿言っちゃあいかんよ国木田くん」

国木田「そんななあ…中学時代の銀さんはあんな感じだったけどなあ」

銀時「あんな厨二病が服着て歩いてるようなヤツと似てるヤツなんかいねーよ」

国木田「ほら、なんだっけ…邪気眼？突然銀さんが授業中に」

銀時「あーっ！！そろそろ下校時間だなあ！！！」

国木田「え？いやまだじく」

銀時「ホラホラ！小さい子は遅くなる前に帰りましょうね！」
グイ

国木田「お、押さないですよ…」

翌日

女子生徒1「ね、ねえ涼宮さん…？」

ハルヒ「何よ」

女子生徒1「昨日のドラマ…見た？」

ハルヒ「見てない」

女子生徒1「おもしろいから一回見た方がいいよ？」

ハルヒ「うるさい」

女子生徒2「ホットコーゼジョシセイト1ちゃん、コンナヤツ相手にスルダケ無駄ナンダヨ」

女子生徒1「でも……」

国木田『あの涼宮って女の子もなかなかだね』

国木田『なんだか銀さんに似てるなあって』

銀時「……………」

銀時「よお」

ハルヒ「何よ」

銀時「あの自己紹介、もしかして本気だったのか？」

ハルヒ「だったら何よ、あんた宇宙人なの？」

銀時「頭ん中が宇宙さまよってるやつなら目の前にいるけどな」

ハルヒ「…馬鹿にしてるの？」

銀時「良いんじゃないの」

ハルヒ「？」

銀時「本気なんだろ？良いことじゃねーか」

銀時「人生なんざボーっとしてたってつまんねえ」

銀時「どんなにくだらん事だろーと信念持ち続けて生きることには必要だろ、うん」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7667i/>

涼宮ハルヒの憂鬱～よろずやSOS団～

2010年12月4日07時02分発行